



1月の活動予定

1/21(日)座間青少年センター祭り ; 座間琴出演

1/24(水)小松原保育園初訪問; 東原琴

本部より

2018年になりました。新年はいかがお過ごしでしたか。
年末年始は少ゆとりする時間があり、本を何冊か読みました。その中で心に響いたのは日野原先生の著書「いくつになっても今日がいっぱい新しい日」です。私たちに残された有限の生涯をいかに生きるか考えてみませんか。と日野原先生は私たちに問いかけています。そしてまた「人が生涯積み重ねた経験は、つくりあげた財産よりもはるかに貴重です。」と書かれています。今年もみんなで心温まる体験を積み重ねてまいります。

成年

戌(ツチノエ)は「植物の成長が絶頂期にある」を意味しており
戌(イヌ)は「万物の繁殖がすみ、勢いを収めるとき」とあります。
今年はこの成長が絶頂期の戌と、勢いを収める戌の物事の端と端の年。
物事が両極端になる年になりそうです。
戌年の特徴としては「勤勉で働き者」「食べ物に困らない」「道に迷わない」
があります。
今年もどうぞよろしくお願ひ致します



謹賀新年

綾西ふれあいクラブ通信より

ワンハートスピリッツの皆さんは、綾西ふれあいクラブの
定例会に出演しました。その模様はクラブ通信の
中野編集者により、克明に再現されました。
とても温かい文章です。
自主活動されている皆さんへのエールにもなると
思いますので掲載させて頂きました。



お彼岸の中日、朝方の雨も上がってのうす曇りの中、51名の会員で9月の会が開かれました。
恒例のお誕生日会のお祝い、活動報告等に続いて、ワンハートスピリッツの皆さんの「大正琴ミニ
コンサート」を楽しみました。大正琴は、金属の弦からの音色が、憂いを帯び、「日本生まれの西洋楽器」
と呼ばれ、現在も多くの人に親しまれています。音色が、「心の琴線に触れる楽器」としても愛され、
大正琴の愛好者の皆さんは、職人技で、人を魅せる演奏家として、大勢の方々が活躍しています。
ワンハートスピリッツの皆さんの演奏は、昭和49年発表ポールモーリアの演奏で有名な「オリーブの
首飾り」に始まり、昭和48年ペドロ&カプリシャスの歌で知られる「5番街のマリー」など3曲が演奏され、
40数年前を思いストリングスの音色に酔いました。
「みんなで歌いましょう」の部では、12曲の歌詞集を手に、演奏に耳を傾け、また曲に合わせての
元気な歌声で会場は高揚し、華やぎました。
演奏曲の年代は、「この世の花」や「いつでも夢を」など昭和32年・30年・37年と続き、これらの曲が
生まれた時には、社会に船出したばかりで、不慣れな仕事に熱中し、恋にも情熱を注ぎ、子育てにも
苦労した、そんな人生の大切な刻と重ね合わせて様々な思いが去来しました。
そして また これ等様々な想いへの憧憬が、明日への生きる力になる事を、感慨深く思う時間でも
ありました。
演奏中ほどの一息の時には「春が来た」のメロディーに合わせ「アイウエオ。カキクケコ」と「声出し」し
また「アカサタナ、ハマヤラワ・・・と歌いましたが、後半のアカサタナ・・・は忘却の彼方だった人が多い
ように思いました。そして元歌がチェコの民謡「手をたたきましょう」の替え歌では、笑ったり、泣いたり、
怒ったりの人の心そのものを歌いました。締め曲Le Coup-eの「逢えてよかった」はスピリッツの
テーマ曲との紹介があり、「また逢いましょうね」の演奏と合唱をレポートし、「鬼が笑う」来る年の再会
を約束しました。アンコールでは、昭和54年の「異邦人」が演奏され、楽しみの時が更に増したそんな
定例会の1時間でした。

グループ活動模様NO1 大正琴 たんぽぽグループ



加藤 喜久子

自主活動として最近
自治会のイベント等にも
声をかけて頂き訪問して
います。私たちのモットー
は、楽しく！！が一番



矢内 悦子

入会時期は違っても
「たんぽぽ」は持ちつ
持たれるのいい仲間
で居心地のいいグルー
プです



高野 和子

一期生として20年間
在籍できた事は幸せでした。
自主活動では、{幸せなら
手をたたこう}で皆様と
手をつなぎ歌い笑顔一杯
の会場です



山口 宏子

大正琴に入り、仲間が
みんな素晴らしい人たち
で、これまで楽しくやって
こられたと思います



川村 道子

「たんぽぽ」のメンバーと
して皆さんと楽しく活動
しています。保育園、高齢者
施設などにコンサートに行き、
たくさん曲が弾けるように
なり嬉しいです。



西村 美智子

大正琴を初めて10数年
最も長く続いたお稽古
です。音楽って人の心
も自分の心も和ませる
大きな力だと思えます



戸城 久視

ワンハートに再入会して、はや5年。メンバーの
人たちに支えられ、アツというまの5年でした。
このメンバーだったから続けられたと感謝の日々です。



浜中 利津子

大正琴のステキな音色に
魅せられて、皆さんの仲間
に入れて頂き頂き、日々練習不足
を反省しながらも楽しく頭の体操
指の体操頑張っています

(活動1)10月24日座間市東原保育園に行ってきました。
0~5才の園児たちと手遊びや今回初めてのフラダンス
で楽しい時間を過ごしました。大正琴の演奏の中でも
「うさぎとかめ」「桃太郎」は0才児まで目を輝かせ私達の
演奏にクギづけでした。私達はいつもの様に足の先から頭の
先まで刺激され幸せな気持ちで帰路につきました。(川村)

(活動2)
たんぽぽは色々な会場で演奏します。それぞれ空気感が違います。
11月26日に伺ったティアさんは葬儀会館で静かな雰囲気は漂っていました。
支配人さんの希望に添い訪れた皆様に歌って頂きました。民謡では手拍子で
大いに盛り上がりました。坂本丸さんが好きだったという方がいて「見上げてごらん
夜の星を」で大変感激されたという事でした。一人一人忘れられない思い出の曲があるのだと思います。
これからも心に響く琴音を届けられる様練習したいと思います。(高野)

綾瀬市福祉まつりに出演しました

綾瀬ベル虹の有志に、かつて仲間だった方(ハンディのある方)が「ベルグループを作りたい」と話された事が
きっかけとなり、ハンディのある方中心のベルグループが生まれました。毎月練習を重ね「福祉まつり」に出演しています。

10月29日台風・雨の予報で心配の中「福祉まつり」は実施されました。2011年に発足した「綾瀬ベルサロン'とり」は
今回で6回目の出場です。今回はサポーターの交代、ハンディキャップのお母さん、歌の指導の先生が体調不良で欠席されたり
など万全な態勢ではなかったのですが、臨機応変に練習を重ね、舞台出場出来ました。プログラムはどの曲も楽しい曲で演奏する
私たちも大いに楽しみました。
曲目は「おお牧場は緑」のオープニングで始まり「菩提樹・世界中の子供たちが・ピクニック」など。サポーターによるコーラスは
「ひよっこりひよたん島」「tomorrow」の2曲です。ハンディの方の指導で毎年手話コーラスもしていますが、なかなか難しいです。
音響効果の不具合で少々演奏し難い面もありましたが、例年通り皆さまから大きな拍手を頂きました。
それにしてもお母さんを含めハンディのある皆さんの物事に対する前向きな姿勢・当日は天気予報通りの雨で、健常者さえ「こんな
中行くの？」と弱腰になるような日でしたが、集合時は、皆さん笑顔で「雨なんか知らない」状態でした。あの明るさ、笑顔、自然体の
力強さを教えて頂き、見習わなければと思ひ知らされました。(文:虹リーダー中隣 淑子)